

株主の皆様へ

第168期 第1四半期報告書
平成27年4月1日から平成27年6月30日まで



モノを動かす。心で動かす。



MITSUI-SOKO HOLDINGS

第1四半期(連結)のハイライト

	平成28年3月期第1四半期	平成27年3月期(参考)
営業収益	464億4,300万円 (前年同期比+17.3%)	1,704億8,600万円
営業利益	6億8,100万円 (前年同期比-41.6%)	61億1,200万円
経常利益	2億1,700万円 (前年同期比-78.8%)	43億 800万円
四半期(当期)純利益	7,000万円 (前年同期比-86.4%)	12億1,200万円
1株当たり四半期(当期)純利益	56銭 (前年同期比-86.4%)	9円76銭

<平成28年3月期の連結業績予想> 営業収益▶2,100億円 営業利益▶60億円 経常利益▶34億円 当期純利益▶10億円

目次

ごあいさつ	1	会社の概要	5
第1四半期(連結)の概況	2	株式の状況	5
各事業会社役員のご紹介	4		

<注記>

この冊子においては、将来の見通しに関する記述が様々な表現でなされており、その見通しはリスクや不確実性に左右され、実際の結果と大きく異なることも考えられます。読者の皆様には、これらの将来に関する記述に過度に依存なさらないようお願いいたします。

ごあいさつ

株主の皆様には、平素よりご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。第168期第1四半期の報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当第1四半期における日本経済は、業種や規模によりばらつきはあるものの、個人消費等の国内需要が堅調に推移したことから企業収益にも改善が見られ、総じて緩やかな回復傾向が継続いたしました。一方世界経済においては、ユーロ圏の混乱や中国をはじめとする新興国の成長に一部陰りが見られるなど不安定要素があり、先行きに不透明感が漂う状況となっております。

このような状況の中、当社グループは成長戦略の実現に向けた各種取組みを進めてまいりました。当第1四半期の連結業績ですが、倉庫事業、グローバルエクスプレス事業、ロジスティクスシステム事業において貨物取扱が堅調に推移したことや、本年4月にグループ入りした三井倉庫サプライチェーンソリューションが売上に寄与したことから、営業収益は464億円と前年同期比で約17%の増収となりました。一方、営業利益は海外新設倉庫の立ち上げに伴う一時的費用の増大や、所有不動産の大規模修繕に伴う賃料収入の減少などが影響し、前年同期比約42%減少の6.8億円にとどまりました。

既にお知らせの通り、当社グループは本年5月に新中期経営計画「MOVE2015」をスタートさせました。アジアパシフィックに代表される成長地域、そしてヘルスケア分野といった成長領域への集中投資を始めとし、これまで取り扱うことの少なかった物流の上流工程分野をも含めたプラットフォーム型サービスの開発と展開といった基本戦略を推進してまいります。また、グループシナジーの創出と生産性の向上、そしてその鍵となる人材の育成を重要なテーマとして掲げ、「グローバル・ロジスティクスカンパニーへの新たなステージ」に向けて更なる成長を目指してまいります。

株主の皆様には、このような当社の考えと取組みをご理解いただき、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



平成27年9月

代表取締役社長

藤岡 圭

第1四半期(連結)の概況 (平成27年4月1日から平成27年6月30日まで)

■全般の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安、原油安などを背景に企業収益が好調に推移する中、設備投資も堅調に推移するなど、緩やかな回復基調が続いております。

物流業界におきましても、1～3類倉庫の保管残高は前年同月比増加基調が続いているものの、荷動きを示す回転率は依然マイナス基調が続いております。

こうした経済環境の中、当第1四半期連結累計期間の業績は、倉庫事業では、保管残高が堅調に推移し、また運送関連の取扱も前年を上回ったことなどから増収増益となりました。港湾運送事業は顧客船社の取扱が航路再編の影響から減少したことから減収減益となりました。グローバルフロー事業は、北米での港湾ストの余波により減収減益となりました。グローバルエクスプレス事業は、特に海外において自動車関連の航空貨物の取扱が堅調に推移したことから増収増益となりました。ロジスティクスシステム事業は大手家電量販店向けサードパーティロジスティクス(3PL)業務の取扱が堅調に推移したことなどから増収増益となりました。BPO事業は新規業務取扱開始において業務効率の向上に時間を要したことなどから営業収益は横ばいに止まり営業利益は減益となりました。当第1四半期連結累計期間より新たなセグメントとして加えたサプライチェーンソリューション事業は海外でのメーカー工場の生産高減による取扱量の落ち込みから営業損失となりました。また、不動産事業は減収減益となりました。

これらの結果、連結営業収益は前年同期比68億5千7百万円増の464億4千3百万円、連結営業利益は同4億8千5百万円減の6億8千1百万円、連結経常利益は同8億6百万円減の2億1千7百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は同4億4千4百万円減の7千万円となりました。

■財政状態の変動状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、ソニーサプライチェーンソリューション株式会社(現三井倉庫サプライチェーンソリューション株式会社)の株式取得などから現金及び預金は減少したものの、同社の新規連結に伴い、受取手形及び営業未収金等の流動資産やのれん等の固定資産が増加したことなどから、前連結会計年度末より286億2百万円増加し、2,738億1千6百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定の減少などから前連結会計年度末より8億9千2百万円減少し、720億8千8百万円となりました。

■キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益や減価償却費等による資金留保があったものの新規連結に伴う売上債権の増加や、一部の事業会社において仕入債務が減少したことなどに伴い前年同期に比べ27億5百万円減少の25億3千3百万円のキャッシュアウトとなりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、ソニーサプライチェーンソリューション株式会社(現三井倉庫サプライチェーンソリューション株式会社)及びPrime Cargo A/Sの株式取得や、賃貸ビルの修繕や国内外における倉庫施設の取得による支出などから238億8千7百万円の支出となり、前年同期に比べ223億5千5百万円の支出の増加となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の償還や配当金の支払による支出があったものの長短借入金が増加となったことから前年同期に比べ229億5千4百万円増の230億9千5百万円の収入となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第1四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末より31億4千2百万円減の195億7千4百万円となりました。

単位：百万円(百万円未満切捨)

	第1四半期 (3ヵ月累計)	第2四半期予想 (3ヵ月累計)	第2四半期連結累計期間予想 (6ヵ月累計)	通期予想 (平成28年3月期)	前通期実績 (平成27年3月期)
営業収益	46,443	49,556	96,000	210,000	170,486
営業利益	681	818	1,500	6,000	6,112
経常利益	217	△117	100	3,400	4,308
当期純利益	70	△370	△300	1,000	1,212

■ 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期末	前期末
	平成27年6月30日	平成27年3月31日
(資産の部)		
流動資産	62,414	58,146
固定資産	211,401	187,067
有形固定資産	132,430	127,973
無形固定資産	46,054	27,361
投資その他の資産	32,917	31,732
資産合計	273,816	245,213
(負債の部)		
流動負債	73,353	58,641
固定負債	128,375	113,591
負債合計	201,728	172,232
(純資産の部)		
資本金	11,100	11,100
資本剰余金	5,563	5,563
利益剰余金	39,368	39,919
自己株式	△101	△101
その他有価証券評価差額金	6,697	6,351
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	3,366	4,173
退職給付に係る調整累計額	1,195	1,237
非支配株主持分	4,897	4,735
純資産合計	72,088	72,980
負債純資産合計	273,816	245,213

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

■ 四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期	前年同期
	平成27年4月1日から 平成27年6月30日まで	平成26年4月1日から 平成26年6月30日まで
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△203	524
その他の包括利益	△553	△170
その他有価証券評価差額金	345	371
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	△833	△386
退職給付に係る調整額	△41	△19
持分法適用会社に対する持分相当額	△24	△135
四半期包括利益	△756	353
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△433	367
少数株主に係る四半期包括利益	△323	△13

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

■ 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期	前年同期
	平成27年4月1日から 平成27年6月30日まで	平成26年4月1日から 平成26年6月30日まで
営業収益	46,443	39,585
営業原価	40,944	34,868
営業総利益	5,498	4,717
販売費及び一般管理費	4,817	3,550
営業利益	681	1,166
営業外収益	611	471
営業外費用	1,075	614
経常利益	217	1,023
特別利益	743	—
特別損失	363	70
税金等調整前四半期純利益	597	952
法人税等	800	428
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△203	524
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△273	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	70	515

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期	前年同期
	平成27年4月1日から 平成27年6月30日まで	平成26年4月1日から 平成26年6月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,533	172
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,887	△1,532
財務活動によるキャッシュ・フロー	23,095	141
現金及び現金同等物に係る換算差額	181	△257
現金及び現金同等物の増減額(△減少)	△3,142	△1,475
現金及び現金同等物の期首残高	22,717	15,943
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,574	14,468

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

～各事業会社役員のご紹介～

本年4月、当社グループは三井倉庫サプライチェーンソリューションを6番目の事業会社としてグループに加え、新たなステージへ向けて歩み始めました。ここでは各事業会社の役員をご紹介させていただきます。(それぞれ左から順に、後列から前列へ。)

三井倉庫



取締役上級執行役員	若野 英樹
取締役上級執行役員	松川 昇
取締役 (非常勤)	中谷 幸裕
取締役上級執行役員	小田中 修
常務取締役	矢川 康治
取締役上級執行役員	木納 裕
代表取締役専務取締役	田原口 誠
取締役会長	田村 和男
代表取締役社長	藤岡 圭
代表取締役専務取締役	道瀬 英二

MITSUI-SOKO INTERNATIONAL PTE LTD



Executive Director	宮島 義明
Managing Director	藤岡 圭
Director	高遠 健治
Director (非常勤)	小川 良司

三井倉庫エクスプレス



常務取締役	早川 潔
代表取締役 専務取締役	郷原 健
取締役	和田 泰彦
代表取締役社長	久保 高伸
取締役会長	藤岡 圭

三井倉庫ロジスティクス



取締役 (非常勤)	佐藤 誠治
取締役執行役員	恵谷 洋
取締役 (非常勤)	碓 誠
代表取締役社長執行役員	石田 幸男

三井倉庫ビジネストラスト



取締役会長	碓 誠
代表取締役社長	池田 求
取締役 (非常勤)	古賀 博文

三井倉庫サプライチェーンソリューション



取締役	碓 誠
取締役 (非常勤)	駒田 一彦
代表取締役執行役員社長	川崎 成一
取締役	中島 正則
取締役 (非常勤)	和田 慶二

会社の概要 (平成27年6月30日現在)

商号	三井倉庫ホールディングス株式会社
設立	明治42年(1909年)10月11日
本社	東京都港区西新橋三丁目20番1号
資本金	11,100,714,274円
従業員	889名/単体(含む出向者758名) 5,606名/連結

グループ国内主拠点	東京、横浜、名古屋、大阪、神戸、福岡
グループ海外主拠点	アメリカ、カナダ、チェコ、ポーランド、 ベルギー、デンマーク、イギリス、トルコ、南アフリカ、 アラブ首長国連邦、シンガポール、 マレーシア、タイ、インドネシア、フィリピン、 ベトナム、インド、香港、中国、台湾、韓国

グループの主な事業	倉庫事業 港湾運送事業 グローバルフロー事業 グローバルエクスプレス事業 ロジスティクスシステム事業 BPO事業 サプライチェーンソリューション事業 不動産事業
-----------	---

三井倉庫グループ会社 (平成27年6月30日現在)

連結子会社 68社

主要な連結子会社

三井倉庫 (株)
MITSUI-SOKO INTERNATIONAL PTE LTD
三井倉庫エクスプレス (株)
三井倉庫ロジスティクス (株)
三井倉庫ビジネストラスト (株)
三井倉庫サプライチェーンソリューション (株)
三井倉庫九州 (株)
三井倉庫港運 (株)
三井倉庫インターナショナルジャパン (株)
三井倉庫 (中国) 投資有限公司
MSE EXPRESS AMERICA, INC.
北海三井倉庫ロジスティクス (株)
三井倉庫ビジネスパートナーズ (株)

持分法適用関連会社 6社

株式の状況 (平成27年6月30日現在)

発行済株式の総数……………124,415,013株(前期末比 増減なし)

株主数……………9,526名(前期末比+481名)

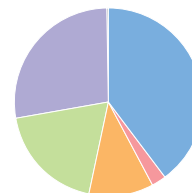
大株主(上位10名)

氏名	所有株式数(千株)	出資比率(%)
三井生命保険株式会社	7,846	6.3
三井住友海上火災保険株式会社	7,005	5.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,232	5.0
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE 15PCT TREATY ACCOUNT	6,075	4.9
RBC ISB A/C DUB NON RESIDENT-TREATY RATE	3,800	3.1
株式会社三井住友銀行	3,484	2.8
株式会社竹中工務店	2,484	2.0
三井倉庫グループ従業員持株会	2,352	1.9
三井住友信託銀行株式会社	2,187	1.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	2,129	1.7

(注)千株未満の株式数は切り捨てて表示しております。
出資比率は自己株式(226,975株)を控除して算出しております。

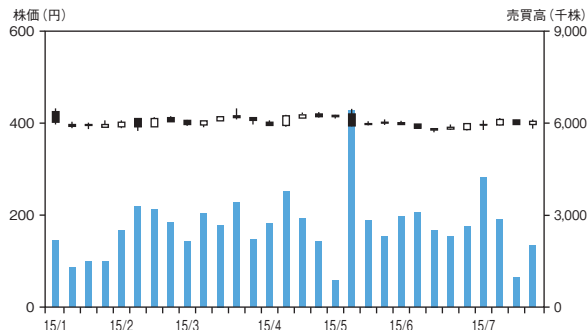
所有者別分布状況

金融機関	49,566千株	39.8%
証券会社	3,268千株	2.6%
国内法人	13,651千株	11.0%
外国人	23,458千株	18.9%
個人・その他	34,241千株	27.5%
当社(自己株式)	226千株	0.2%



株価及び売買高の推移(東京証券取引所)

(証券コード9302)



● 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬に開催
同総会における議決権行使株主	基準日現在1単元(1,000株)以上を有する株主
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
上場証券取引所	東京証券取引所(市場第1部)
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先、電話照会先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話(フリーダイヤル)0120-782-031
公告方法	電子公告により、以下の当社ホームページに掲載いたします。 http://msh.mitsui-soko.com

■ 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社等にお申出ください。

なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設された株主様は、三井住友信託銀行株式会社(左に記載の「郵便物送付先、電話照会先」と同じです。)にお申出ください。

■ 未払配当金の支払のお申出先について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社(左に記載の「郵便物送付先、電話照会先」と同じです。)にお申出ください。

今回の表紙・・・三井倉庫エクスプレス株式会社

グローバル化するメーカーの物流を支える国際航空輸送

産業のグローバル化が進み、よりスピーディーな航空貨物輸送のニーズが高まる中で、フォワーダー(貨物利用運送事業者)が大きな役割を果たしています。三井倉庫エクスプレスは、国際航空輸送を扱うエア・フォワーダーとして、海外現地法人のネットワークを生かし、お客様の立場できめ細やかなサービスを提供しています。



航空機への積み込みの瞬間を待つ自動車